

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成20年10月31日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	下世屋総合流域防災事業(雪崩対策)	地区名	宮津市下世屋		
概算事業費	3.2億円	事業期間	7ヶ年		
事業概要	防護擁壁工L=400m				
目指すべき環境像	地域住民の安心・安全を確保すると共に、地域の生活環境の保全に努める。				
関連する公共事業	なし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	極力大きな地形改変を行わないよう配慮する必要がある。植生についても現地に大きな変化がないよう配慮する必要がある。	対策工選定にあたり、法面ではなく法裾に対策するなど、極力、大きな地形改変や植生の変化を伴わないよう検討する。	3	
	地形・地質				○
	物質循環(土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種				○
	生態系				○
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	当該工事箇所は人家が近接しており、事業の実施において工事車両の通行等による騒音・振動の発生が予測されるため、抑制する必要がある。 また工事施工に伴う廃棄物の発生を抑制する必要がある。	施工方法については、騒音・振動を減少させるよう低騒音、低振動の重機使用を検討する。 対策工選定にあたり木が繁茂している法面での工事を極力避け、法裾での対策を主に進めるなど、廃材、廃土の発生抑制を図るよう検討する。	3	
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動				○
	廃棄物・リサイクル				○
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	高齢化が進んでいる当該地域唯一のコミュニティの場である公民館がある緑豊かな里山景観の維持及び保全に努める必要がある。	コミュニティの場である公民館等の雪崩対策をするとともに、対策工選定にあたり、法面の伐木を極力避けるなど、緑豊かな里山をできるだけ残すよう検討する。	3	
	里山の保全				○
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				○
その他					